

INDEX
3 拓南製作所の安全衛生大会
4 TOPICS
 「県産品奨励月間」街頭セレモニー／拓伸会が興南高校野球部に寄付金／西原グリーンセンターで安全祈願祭／拓南商事で新シュレッター工場起工式／拓南製作所が「社長安全パトロール」ほか
5 薩南物産で「AED訪問講習会」「ハラスメント研修会」／拓南本社初の「消防訓練」
6 拓南製鐵改善活動発表大会「最優秀賞」ダイジェスト<下の前編>
7 連載「拓南余話」⑤

【赤茜】首里出身の新聞記者で俳人の石野朝季が、晩夏の西空に広がる夕焼けの美しさを「あかなあ」と表現した
拓伸会会報(隔月発行)
 〒900-0025
 沖縄県那覇市重川3の2の4 [拓南ビル3F]
 拓南本社内『たくしんNEWS』編集委員会
 TEL.098-831-8228 FAX.098-832-0586

情報共有・連携強化で コロナ禍を乗り越えよう

製鐵・商事・協力企業 合同安全衛生大会



知念敏彦氏(鉄鋼処理)による指差し呼称。感染症予防のために参加者は「唱和」はせず

指差し呼称推進者を任命

令和4年度スローガン「ヒューマンエラーによる災害を安全基本行動にて災害を防止する ヨシー」を掲げ、拓南製鐵・拓南商事・協力企業合同による第25回安全衛生大会が8月18日、うるま市民芸術劇場で開かれた。新型コロナウイルス感染症予防策が講じられた会場には、拓伸会会員企業の見学者も含め、約2,500人が参加した。3年ぶりのリアル開催となった。なお、大会に先立ち、拓南製鐵、拓南商事は同日午前、避難訓練等を実施した。

大会は、拓南商事の長嶺巧専務取締役による社訓唱和、令和4年度年間標語唱和が始まった。続いて、拓南製鐵の八木実と、代表取締役社長が開会あいさつに立ち、次のように述べた。

「コロナ禍のなか、経済活動を続けながら感染防止の徹

底を図っている皆さんに、まず感謝を申し上げたい。今後も、より一層気を引き締め、安全を徹底するという意味を込めて、今回、約3年ぶりのリアル大会を開催することになった。3者が一緒に、情報共有し、連携を強化し、厳しい状況乗り越えていこう」

大会は、安全衛生活動の概要報告に移り、拓南商事について中村明史次長が次のように述べた。

「安全実績については、物損事故の発生件数が年々減少傾向にあり、令和3年度は12件だった。内訳をみると『荷下ろし』『積み込み』が減少を続け、『運搬』は横ばいで推移している。労災の発生件数は5件で、そのうち、手を使う作業が過半数を占めている。発生状況を確認すると、手順通りの作業が行われていないところが見受けられる。一方、衛生実績については、同年度の健康診断結果における有所見率は93%で、沖縄県平均69.5%の約1.5倍にあたり高い。トップ3は、血糖値、血中脂質、肝機能だった」

一方、拓南製鐵については、大内純主任と親富祖茂部長が安全衛生活動の概要報告を次のように行った。



親富祖茂部長(製鐵)



大内純主任(製鐵)



中村明史次長(商事)

「令和3年度の安全実績は、災害が8件(休業災害2件・不労災害6件)発生し、前年度と同数だった。ゼロ災1000日を目指し、前年としてはさらなる対策が必要だ。また、ヒヤリハット関連の報告書の様式が各部署バラバラで、リスク評価も行われていなかったことから、様式を統一して二元管理し、リスク評価も開始した。さらに、吸い上げ件数が見えづらかったことから、個人・部の頑張りに気付ける仕組みづくりを行った。一方、衛生実績については、健康診断結果の有所見率が上昇傾向にあり、91%(今年3月)と高かった。今年度の衛生計画では、産業医、保健師、協会けんぽと連携し、健康・衛生体制を強化する」

ゼロ災を目指し活動報告

続いて、各部署・協力会社の代表9人(組)によるゼロ災活動事例報告が行われた。ポイントは下記の通り。

拓南製鐵加工センターの



八木社長(右端)による指差し呼称推進者任命式

また、親富祖部長は、「拓伸会安全基本行動」の8項目を読み上げた。参加者に起立を求め、感染症予防のために心の中で唱和するよう促した。

両社の報告の後、八木社長による指差し呼称推進者任命式が行われた。

八木社長は、指差し呼称推進者48人に腕章を授与し、「指差し呼称をしっかりとやりついでいれば防げた事故が起きている。皆さんがリーダーとして仲間を声掛け、自ら模範を示してほしい」と期待を述べた。

古波津伸氏は、今年度のキガカリ報告(ホイスト操作時の転倒、ホイスト荷振れによる溶接機カバー激突)、過去に起きたヒヤリハット(シユネ

拓南余話

拓南余話 ⑥

電気師導入(1961年2月)のころ、事務所は2階建RC造で、拓南商事と拓南製鐵が同居して...

貝類を積んだサバニが入港し、そんな日が続いてきた。仕事で、その日、フエン...

ため、残業などときや鉄筋の生産が1班で8トンを...

しかし、なかには、会社本末の意図に反し、4、5枚貯めて、目が覚める前か...

裸電球の澄明のりなどで計量できる大型の計量器も少な、他の業者がらも計量にきていた。

カンカン娘がいた

黒島 善茂

は、金秀鉄工の境界線を背にして、拓南が買い付けて、鉄スクラブを計量する計量所があった。

その計量所のことを通称「拓南カンカン」君賢(かかん)ばり(かん)の略と呼んでいた。そのころ、県内ではトラックの積荷ごと...

ちよとど、東京カンカン娘、そこに若い女子社員が動いていたことか...

若い男性の仲間内ではちよとどという人気者となり、彼女を自慢にわぞど計量に来る運転手もいた。

嫁らしい嫁もいない時代のささやかな楽しみの一つであったらう。(拓伸会 前名譽会長)



創立当初の拓南商事計量所(徳川)

「70周年に向け大きな一歩」

新ユレッタ工場起工式 拓南商事

拓南商事の新ユレッタ工場の起工式が7月6日に行われた。出席者は、川上設計事務所...

川上設計事務所 川上智史代表取締役社長 川上サテックシステムズ...

「堅固なユレッタについて、はなから以前から技術的に研究を重ねてきた。...

サイクル商品を事業化するようなプロジェクトも視野に入れていた。...

来年3月末に完成予定

拓南本社総合企画部企画課の名波和幸課長による、新ユレッタ工場概要

課の概要は、既存プラントと並行して稼働し、県内で発生する廃自動車や廃家電...

また、平成10年に完成した既存プラントを有るため、また、平成10年に完成した既存プラントを有るため、また、平成10年に完成した既存プラントを有るため、...

拓伸会の新人研修「道場」

「日刊工業新聞が紹介」

小紙の前号(7月号)で紹介した「若手社員育成の場」を「日刊工業新聞」が7月26日付と8月4日付の紙面で取り上げた。

7月26日付の記事の見出しは「入社直後に「基礎中の基礎」拓南製鐵が「道場」開設。道場開設の目的は「基礎中の基礎(正機械や工具の名称、用途の習得を入社直後に教育し、その後の技能習得をスムーズにする」と紹介し、「(新人社...

8月4日付の記事は、インタビュー企画「挑む」より、拓南製鐵が「道場」開設の目的は「基礎中の基礎(正機械や工具の名称、用途の習得を入社直後に教育し、その後の技能習得をスムーズにする」と紹介し、「(新人社...



実践教育の新人研修「道場」

「日刊工業新聞」7月26日付(右)8月4日付(左)

★最優秀賞 スタッフチームの部 品質管理室 「SD490降伏棚調査」前編

※「後編」は11月号に掲載予定です。(左ページより)

1. SD490の特殊仕様について

ネジテックSD490には大きく分けてA仕様とB仕様と呼ばれる2種類の仕様があります。A仕様とは表1-1に示すような一般的な仕様となっており、降伏点、引張強さ、降伏比、伸び、曲げ性能などJISに規定された性質と同じ項目の要求事項があります。それに対し、B仕様は表1-2に示すような顧客仕様となっており、A仕様の性質に降伏棚、曲げ戻し性、塑性域での性能といった項目が追加され、より厳しい仕様となっています。

表1-1 機械的性質(一般仕様)

Table with 6 columns: 種類(記号), 降伏点又は引張強さ(N/mm²), 降伏比(%), 引張試験片, 伸び(%), 曲げ性能. Data for SD490(A).

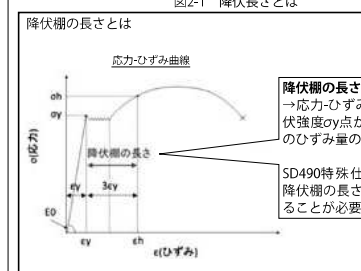
表1-2 SD490顧客仕様機械的性質

Table with 7 columns: 種類(記号), 降伏点(N/mm²), 降伏比(%), 伸び(%), 曲げ戻し性, 塑性域での性能, 備考. Data for SD490(B).

2. 降伏棚の長さとは

降伏棚の長さとは、応力-ひずみ曲線上で降伏点でのひずみからeyからehまでのひずみ量のことをいいます。ここで、ehとは引張試験によって得られたE0(ヤング率)と降伏点oyによって計算される値です。SD490の特殊仕様ではこの降伏棚の長さが引張開始から降伏点でのひずみeyの長さの3倍以上必要とされます。

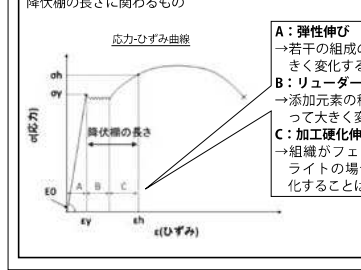
図2-1 降伏長さとは



3. 降伏棚の長さに関わるもの

降伏棚の長さに影響を与える因子は「弾性伸び」「リューダース帯」「加工硬化伸び」の3つがあります。今回の調査では「リューダース帯」に注目しました。

図3-1 降伏棚の長さに関わるもの



第16回 拓南製鐵改善活動発表大会(令和4年2月17日開催・小紙3月号参照) 「最優秀賞」ダイジェスト(下)

4. リューダース帯の定量化

過去の引張試験のデータからリューダース帯の長さを定量化し、今回の調査では値が0.8よりも小さいものをリューダース帯が短いと定義しました。

図4-1 リューダース帯の定量化

A large table showing the quantification of the yield plateau length for various SD490 samples, with columns for sample ID, yield point, yield ratio, and yield plateau length.

リューダース帯の定量化を行った。今回の調査では値が0.8よりも小さいものをリューダース帯が短いと定義した。

5. 製鋼要因

図5-1及び図5-2にそれぞれリューダース帯の値と主要元素の相関関係と各チャージと主要元素の推移を示します。両図からリューダース帯と各成分値との関係性は確認出来ませんでした。このことからリューダース帯が短くなるのは製鋼要因ではないと考えられます。

図5-1 リューダース帯の値と主要元素

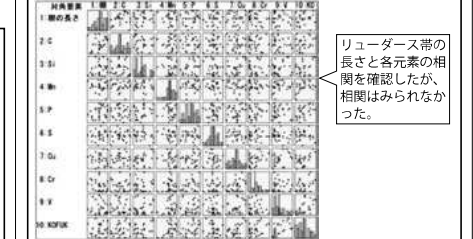
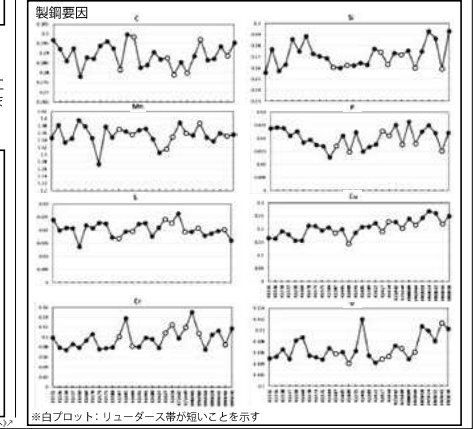


図5-2 各チャージと主要元素の推移



※白プロット:リューダース帯が短いことを示す

社長安全パトロール実施

拓南製作所 海岸清掃も

6月

拓南製作所は6月3日午前中、社長安全パトロールおよび地域貢献活動(海岸清掃)を行った。

安全パトロールの一行は本部紹介代表取締役社長をはじめ14人で、8時45分にスタートし、防錆事業所(案内者・富里真史所長、フオー



リング事業所(川平良幸課長)、建設鐵構事業所(下門健一次長、鐵筋事業所(盛根康彦課長代理)の順で行った。

終了後、鉄筋事業所校内で総評が行われ、そのなかで、本部紹介代表取締役社長が次のように述べた。

「安全パトロールを行う度に良くなってきている。非常に危ない・非常に汚いという事業所はなかった。この調子で、今期から始めている改善活動に結びつけていってほしい。安全活動、3S活動に終わりはなく、エンドレスだ。毎年、新入社員や中途採用者が入ってくるので、一からの指導も行わなければならない。そこも含めて、常に前進していってほしい」



ところで、安全パトロールに先立ち、8時から、本部社長をはじめ役員、協力企業の皆さんが会社前の海岸沿いを清掃した。中城村民の方々が気持ちよくウオーキングできる環境になった。収集したゴミは中城村役場が回収した。



石川氏(商事)に防犯功労者表彰

うるま警察署 うるま地区防犯協会

7月

うるま警察署とうるま地区防犯協会は7月22日、拓南商事の安全担当・石川正人主任を「うるま地区防犯功労者」として表彰した。写真参照。

表彰式は、うるま警察署で行われ、約13年間にわたってパトロールに参加し、防犯活動および少年の非行防止活動に貢献する石川氏をたたえた。

石川氏は「今後も地域の安心安全は自分が守るんだ！」



交通安全諸活動で製鐵を表彰

沖繩警察署 沖繩地区交通安全協会

6月

沖繩警察署と沖繩地区交通安全協会は6月27日、拓南製鐵に「地域における交通安全諸活動を積極的に推進した」として表彰状と記念品を贈呈した。

同協会の関係者が同月26日、拓南製鐵中部事業所を訪ね、営業管理部の西銘進部長、安全衛生統括責任者の親富祖茂部長が対応した。

同協会は「交通事故の防止と交通秩序の確立に多大な貢献をした」と功績をたたえた。



夏の甲子園大会で、興南が市立船橋と対戦しました。その試合の数時間前、拓南会の代表3人が興南高校を訪れ、激励の寄付金を贈呈しました。4頁参照。でもたってもいられない気持ち。分かります。試合は、残念ながら、死球押し出しによるサヨナラ負け。勝負を分けるものは、紙一重のところ。準備されるようです。そして、「人生のスコアボードはずっと続く」我喜屋優監督。若者たちの健闘に感謝。(鈴木)

安全衛生大会Ⅱ1〜2頁参照の取材で、うるま市民芸術劇場ホールに足を踏み入れると、真つ暗。しかし、参加者がだいぶ着席している気配が漂っていました。奥のスクリーンには、安全行動の大切さをアピールする映像が放映されていました。大会開始時間まで視聴してもらおう趣向のようでした。

明かりはそのスクリーンだけで、加齢によるトリ目傾向の私は、ステージ前の記者席へ恐る恐る向かいました。しかし、途中でガクンと両膝をついてしまいました。段差に気づけなかったのです。

そのとき、近くの席から、聞き覚えのある陽気な声が。



*この号の琴線に触れるような皆さんの「ちよつといひ話」を紹介させていただきます。情報や原稿を募集します。随時掲載します。文字数は本文参照。会社名・部署名・氏名を必ず明記(匿名は受け付けません)。拓南本社総合企画部企画課(烏袋線主任)まで。

2022年
7月1日〜8月31日
*一部、未定分も掲載しています。